

広報うちこ

UCHIKO 8

あなたとまちをつなぐふるさと情報誌

August 2019

vol.262

◎COVER

夏休みは内子で味覚狩り

◎特集

ブルー スカイ
BLUE SKY

白球を追いかけた先に見た空 ——

ぼくの夢 わたしの夢

前田 ^{てっぺい} 哲平くん 天神小学校6年(上宿間)

競馬の騎手になって 日本ダービーに出場したい

僕の夢は競馬の騎手です。レースのスピード感が好きなのと、サラブレッドにまたがる騎手の姿に憧れたのがきっかけです。動物が好きで、乗馬体験を小田のミニミニファームMORIIや熊本県の草千里でしました。馬は想像以上に大きくて、背中にまたがって見る景色は最高でした。騎手はレースだけでなく、競走馬の調教や厩舎の仕事をするなど、いつも馬のそばにすることができるそうです。

騎手になるには、まず競馬学校を目指します。体重がレースの出場や勝敗に影響するので、学校では前日から体重が500^{グラム}変わるだけで乗馬が許されません。とても厳しい世界だけど、いつか日本ダービーで騎乗するためにも頑張りたいです。競馬は馬と呼吸を合わせることが大切なスポーツ。馬の気持ちを感じ取ってあげられる騎手になりたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.262

広報うちこ2019年8月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢 / 目次
- 3 特集 ^{ブルー スカイ} BLUE SKY 白球を追いかけた先に見た空——
- 12 まちのニュース スバル20周年記念コンサート / 愛媛ジョブチャレンジ 他
- 14 うちこ往来 小田未来いころ会議 / 元気わくわく川まつり 他
- 16 みんなのひろば
リレーエッセイ / はじめてのバースデー / 人☆キラリ / HELLO!!! 他
- 20 図書館へ行こう
- 21 ゆうていあ Vol.220
- 22 町からのお知らせ 花火大会 / 茂山狂言公演 / ブロック塀の安全点検 他
- 27 暮らしの情報 愛媛県警察官募集 / ワンツーツリーフォレスト 他
- 30 健康カレンダー / お元気ですか / 人のうごき / 相談 / 当番医
- 32 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎7月25日、ツーリストファーム百楽園で桃狩りをしていた、竹内里央さんと恵人くんの写真です。果物が苦手という恵人くんですが、「この桃は甘くておいしい」と笑顔でした。桃狩りに来る際は、2日くらい前に電話で確認してほしいとのことです。

8月中旬頃からは、町内でブドウ狩りが始まります。夏はぜひ内子の味覚を味わってください。

【問い合わせ】旅里庵

☎0893(43)1450

ブ ル ー ス カ イ
特集 BLUE SKY

白球を追いかけた先に見た空——

障がい者ソフトボールチーム
「内子ブルースカイ」。
昨年、山口県で開かれた大会で
2連覇を達成しました。

メンバーの中には、
事故による大けがで
体の一部を失った人たちがいます。
チームに入る以前は、
当たり前だったことが
できなくなる苦しさで、
心の中にどんよりとした雲が
覆っていたそうです。

しかし今、
手足や聴覚に障がいがあっても
晴れ晴れとした表情で
懸命にプレーする姿は、
障がいのつらさを感じさせません。

今回の特集は、
3連覇に挑んだブルースカイに密着。
大会に込められた思い、
選手たちの思いを知ると、
チームが担う大切な役割が
見えてきました。



7_ 試合後の固い握手。また、来年もこの場所で—— 8_ ヒットを打ち、ベンチからの声援に手を上げて応える 9_ あいにくの雨模様でも、表情は晴れやか 10_ 躍動感のあるウインドミル投法で、力強いボールを投げ込む 11_ 狙いすまし、左手一本で振りぬく 12_ 力を尽くし、最後は爽やかに記念撮影

1_ 円陣を組んで士気を高める 2_ 捕球後、右手にはめていたグローブを素早く外して送球 3_ 大会に花を添えるレディースチーム 4_ 前年度優勝のブルースカイが、開会式で優勝杯を返還 5_ 生還してベンチの出迎えを受ける 6_ 地元中学校の野球部員が、ボールボーイなどのボランティアで参加

「ナイスバッティング」、「ドンマイ、ドンマイ」。前日から漂う雨雲をかき消すような、元気ではつらつとした声がグラウンドに響き渡ります。

7月14日、山口県山口市で「第29回西日本障害者ソフトボール大会」が開かれ、中四国地方と九州地方から14チームが参加。27・28回大会で優勝した「内子ブルースカイ」（以下、ブルースカイ）は、3連覇に挑みました。

障がいに対する理解や障がいの社会参加を図ることを目的に、毎年開催されている同大会。障がい者だけでなく、シニアやレディースチーム、その他の健常者も支援者として参加することができます。

ブルースカイは、手足や耳に障がいのある人と健常者で構成されたチームです。初戦からチームワークを発揮し、決勝トーナメントに進出。準決勝で2対3と力尽き、結果は4位と惜しくも3連覇は逃しました。

試合後、選手の一人は「力を合わせて戦って、交流の輪も広がった。優勝することよりも意味がある」と胸を張りました。力を出し切った選手の皆さんは、敗れても爽やかな表情をしていました。

雨にも負けず、ブルースカイ大健闘

ある人は片腕だけで、またある人はほとんど音の聞こえない中、懸命なプレーを続けた「内子ブルースカイ」。3連覇の夢は途絶えても、選手の表情は晴れやかでした。





内子ブルースカイ 支援者
藤岡 洋一さん

ひたむきなプレーに感動

学生時代から野球やソフトボールをやってきました。ブルースカイを手伝い始めたのは、13年前。職場の人に誘われたのがきっかけです。

参加してすぐ、障がい者のプレーに驚かされました。ある試合で、腕に障がいのある外野手のところへ、大きな打球が飛んでいきました。私は「無理だ、追いつけない」と思いましたが、その選手は諦めていませんでした。頭から飛び込んでアウトにしたのです。精いっぱいプレーを目の当たりにして、ひたむきに白球を追いかけていたころの気持ちを思い出しました。それから「自分にできることは何でもしよう」と、審判の役も率先して引き受けています。

同じユニフォームを着て同じグラウンドに立てば、障がい者も健常者も関係ありません。実際、健常者だけで構成しているシニアやレディースチームとも、毎年いい勝負を繰り広げています。私もメンバーである以上、中途半端なことはしたくありません。必要としてくれるチームのために、これからもできることで協力し続けたいと思っています。



▲笑顔で戦況を見守る藤岡さん(右奥)

「障がい者だけでは意味がない」 大会に込められた思いとは

大会の創設から携わってきた、山口県障害者ソフトボール協会前事務局長の小柳郁夫さん。「障がい者の頑張っている姿を知ってもらいたい」と願っています。障がいの違いを超えてソフトボールの楽しさを共有できる大会は、相手への理解と障がい者の自信につながっています。

障がい者の頑張っている姿を知ってもらうことが一番

第1回大会から昨年の28回大会まで、事務局長を務めました。大会を企画した際、一番に考えたのは障がい者の皆さんが頑張っている姿を、多くの人に見てもらおうことでした。

それまでの経験から、「障がい者のスポーツ大会を応援しに来てくれるのは、家族や知人だけ。障がい者が身近にいない人たちには、知ってもらえない」と思いました。そこでシニアやレディースチーム、健常者も一緒に参加できる大会を企画することで、より社会とのつながりを感じられる大会を目指しました。

まずシニアチームに声を掛けましたが、なかなか参加してくれないチームは見つかりませんでした。「けがをさせてしまつては困る」「障がい者の大会だから、障がい者だけでやるべきではないか」と言われたこともありました。そこで私は「障がい者の頑張りやレベルの高さは、口で言っても伝わらない」と考え、とりあえず一度だけでも見に来てほしいとお願いしました。

見てもらったことで、きっと何かが伝わったのだと思います。第

2回大会からはシニアチームが参加し、それ以降はレディースチームなどにも参加が広がっていききました。

一度参加してくれたチームは、次回からも快く参加してくれました。30年近く続けてきた今、ボランティアを含め200人以上が参加してくれる大会に成長。多くの人に見てもらおうことが、障がい者の活力になっていきます。

共に参加できる仕組みと大会の持つ役割

昔は腕や足、聴覚など体のどの部分に障がいがあるかで、別々に競技をするスポーツばかりでした。障がい者同士でも、交流は十分とは言えなかったと思います。私たちの障がい者ソフトボール



山口県障害者ソフトボール協会前事務局長
小柳 郁夫さん

大会は、例えば走ることが困難なバッターに代わって「打者代走」が走塁をしたり、盗塁やパスボールでの進塁を禁止したりすることで、足に障がいのある人が不利にならないルールを設けています。さまざまな障がいの人たちが一緒に参加できる仕組みは、障がい者への理解につながり、本人にとっても「障がいがあってもできることとはある」という自信につながります。健常者からは、「障がい者大会ということ忘れて、試合を楽しんでいた」という声も聞こえます。

自信につながる大会をこれから

私も障がい者の一人です。昔はいじめられたりからかわれたり、嫌な思いを経験してきました。障がい者の多くが、自分の障がいを隠していた時代がありました。し



▲開会式の様子。シニアやレディース、健常者など多様な顔ぶれが並ぶ



▲後ろに控えるのは「打者代走」。走ることが困難な打者によって走塁を担う

かし、今では障がいを見られても嫌とは思わず、隠さない人が増えていきます。私たちの大会のように、障がい者が社会参加できる大会が増えたことが、社会との垣根を無くすことにつながっています。

「ヒットを打ちたい」「試合に勝ちたい」。ソフトボールを通して、障がい者の皆さんは努力しています。また、多様な人たちと一緒にプレーすることで、「自分の障がいは、恥ずかしくはない」との思いが心に芽生えてきます。障がい者の皆さんが自信を持てる一つのきっかけとなるように、これからも大会を続けていきたいです。



▲今大会からボランティアとして参加した、山口県柔道整復師会

ブルースカイがあったから、 出会い、気づき、救われた

「まさか、自分が障がい者に……」。取材で出会った多くの人が、同じように話し始めます。突然の事故、昨日まで当たり前だったことができないもどかしさ——。つらい日々を乗り越え、笑顔で過ごせるようになるまでの過程には、家族の支えや仲間たちとの出会いがありました。ブルースカイのメンバーから、大森広一さんと緒方憲次さんを紹介します。

絶望の淵から救ってくれたのは、
家族とブルースカイだった

大森 広一さん 岡第2

忘れもしない、平成14年10月16日——。地域の祭りで神輿を担いだ翌日のことでした。誤って職場の機械に巻き込まれ、私は左腕の先を失いました。

退院後、現場の仕事はできなからと、営業をすることになりました。最初は人前に出るのが億劫で、特に知人に会ったときは、気を使わせてしまうよう嫌でした。「これからどうなるんだらう——」。憔悴しきっていたとき「生きていても仕方がない。死にたい」という考えが頭をよぎりました。

絶望的な状況から立ち直れたのは、家族の存在があったからです。けがをした当時、妻のおなかには娘がいました。「新しい命がある」。そのことが大きな力となり、「このままでは駄目だ」と前を向くことができました。家族や周囲の支えもあり、徐々にですが人前に出ることも慣れてきました。

そして、ブルースカイに出会

いました。大会に参加すると「あの人は、あれほどのけがをしても頑張っているのに、俺も頑張らないか」と思える経験ばかりでした。言葉ではなく、見ただけでそう思ったのです。参加し始めて数年後、ブルースカイの仲間から「最初は死んだような目をしてたのに、いい表情に変わってきたな」と言われました。自分では気付いていませんでしたが、いつの間にか自分自身も明るくなっていました。支え合えるチームの仲間たち、サポートしてくれる支援者の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

大会には、妻や子どもたちと一緒に参加してきました。けがをした時に妻のおなかにいた娘が、ブルースカイでピッチャーをしてくれたこともあります。子どもたちにとっても、障がい者が頑張る姿を間近で見ることができたのは、貴重な経験だったのではないのでしょうか。



毎月1回開く、同い年の集まり。けがをして間もない頃は、お酒を飲む気にならなかったという緒方さん(中央)ですが、「今はこの集まりが楽しくて欠かせない」と笑顔

「できない理由」から「できる工夫」へ
ブルースカイで学んだこと

緒方 憲次さん 岡第2

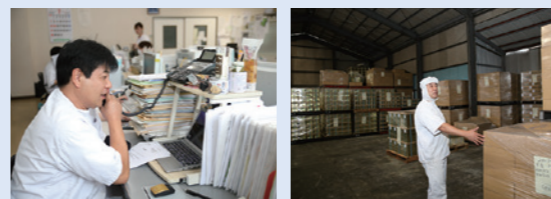
私は30歳の時に、右腕を失いました。突然のことで気持ちの整理がつかず、ブルースカイに誘われても最初は行く気になれませんでした。初めて大会に参加したのは、けがをしてから5年後のことでした。

大会に参加したとき、私と同じく片腕のない人が、タオルの片方の端を物にひっかけて、器用に絞っているのを見かけました。タオル一つ絞るのも誰かに頼んでいた私にとっては、工夫一つで自分でもやれることを学ぶ機会になりました。またある試合では、脳性まひの選手が椅子に座った状態でキャッチャーをしていました。自分のできることで、懸命にプレーする姿が印象的でした。

障がいの程度は人それぞれですが、境遇は似ていると思います。私が心打たれたように、私に何気なくやっていることでも、誰かのためになっていることがあると気付かされました。



大森さんご家族。過去の大会には家族ぐるみで参加してきた



【右】職場の缶詰工場。出荷前の商品が並ぶ
【左】営業担当の大森さん。手際よくデスクワークをこなす



私は片腕しかないので、守備のときはボールを取るとすぐさまグローブを地面に落とし、再びボールを左手でつかんで投げます。もともと右利きなので、最初は真下にボールをたたきつけてしまうことも——。思うようにならないもどかしさを口にしたとき、「できないのは障がいの問題じゃなくて、やる気の問題。練習すればできるようになる」とずばり言われてしまいました。厳しい言葉ですが、変に気を遣わず、互いに言いたいことを言える環境が、私にとって大切だったのかもしれない。

大会に参加している人たちは、障がいを隠しません。どこか暗く、心を閉ざしている人でもだんだんと表情が明るくなるのが分かります。みんな同じように感じて、学んだのだと思います。私もたくさんの顔見知りがありました。「元氣やったかい」と声を掛け合えるのも、楽しみの一つになっています。

手を伸ばせば届く、 つながる、思いがある

かつては愛媛県内にもいくつかの障がい者ソフトボールチームがありましたが、残っているのはブルースカイだけ。「大切な場をなくしてはいけない」と力を込める、代表の山本勝美さんに思いを聞きました。



内子ブルースカイ代表
内子町身体障害者更生会
体育部長
山本 勝美さん
=内子19第1=

「ずっと続けていこう」
障がい者同士の約束

山口市の障がい者ソフトボール大会は、障がい者が頑張ろうと思ったり、同じ境遇の人から学んだりできる、大切な大会になっています。

私たちも山口市の大会に習い、「内子町並み杯」を始めました。ルールも同じで、シニアやレディースチーム、健常者が一緒になって大会を盛り上げています。参加チームの減少で開催が危ぶまれたこともありましたが、「続けてほしい」という、たくさんの声の後押しとなって14年間続いています。

愛媛県外のチームも内子町に来るのを楽しみにしていて「山口市と内子町の大会は、ずっと続けていこう」というのが、い

つしか障がい者同士の約束になっ
ています。

チーム存続への思い

以前は愛媛県内にもいくつか障がい者チームがありました。現在、存続しているのはブルースカイだけで、町外選手の受け皿にもなっています。それでも人数は少なく、ブルースカイ自体も年々存続することが難しくなっているのが現状です。

個人情報保護する理由で、私たちに詳しい情報は入りませんが、内子町では約1100人に障がい者手帳を交付しているそうです。かつての大森さんや緒方さんのように、悩んでいる人がたくさんいるのではないかと、心配しています。

私はブルースカイを絶対になくしてはいけないと思っ

す。このチームに出会って、人生が開けた人がたくさんいるからです。まだ障がい者で苦しんでいる人がいるなら、その人たちに応援したいし、健常者にも感動や勇気を与えられるチームであり続けたいです。

互いに手を伸ばしたら
きつと、思いもつなげられる

ブルースカイは基本的に障がい者のチームです。大会の運営は障がい者自身で行います。少ない人数で運営の役割を分担したり、充実した練習ができなかったりするので、健常者の協力が不可欠です。「こんなことができるよ」と、手を差し伸べてくれるとうれしいです。

チームメイトも随時募集しています。ソフトボールの上手下手は関係ありません。やるからには一生懸命してほしいですが、勝ち負けよりも「頑張ろう」という気持ちや多くの人と交流を重ねることが大切です。障がいについて一人で悩まず、話してみてください。私たちと一緒に気持ちのいい汗を流せば、心に広がる曇り空は、きつと青空に変えられると信じています。

みんなの心に青空を

山口市の大会は障がい者に配慮したルールを設けることで、誰もが試合を楽しんでいます。参加した健常者からは「レベルの高さに驚いた」という声が聞かれました。試合を通して理解が深まったことで、「障がいがあるから」という見えない壁が、取り払われたのではないのでしょうか。

ソフトボールに限らず、他のスポーツや日常生活の中でも同じです。少し環境を変えることで、力をより発揮でき、みんなと同じように参加できる人がいるかもしれません。世の中にはまだまだ障がい者にとって障壁になることがたくさんあります。その壁を取り払ったとき、すべての人の心の中に、澄み渡る青空が開けてくるのかもしれない。

心に広がる曇り空は、
きつと青空に変えられる



チームメイト募集中
未経験者も大歓迎です。
内子ブルースカイ 山本
0893(44)2165

星空のように町民が集い輝く場—— スバルで開館20周年記念コンサート

文化交流センタースバルの「開館20周年記念コンサート」が6月23日、同館で開かれました。小田地域にゆかりのある橋本岳人山さん夫妻や三田杏華さん、折本慶太さんがステージに立ち、尺八や箏、三味線などの演奏で500人の来場者を魅了しました。

三田さんの曲「がんばれ高齢者」では、会場が一体になって体操をして盛り上がり、岳人山さん



1_出演者と観客全員で「ふるさと」を歌う 2_公演後、笑顔で記念撮影に応える三田杏華さん

からは「体調を崩していたとき、小田の野菜で元気に来た」という話もありました。最後はみんな「ふるさと」を合唱。会場全体がやさしい雰囲気になりました。一緒に20周年を祝いました。

「スバル」の名には、星空のように人々が集い、輝く場所になるように、宇宙のように町民の輪が広がるように、との願いが込められています。

中学生の「愛媛ジョブチャレンジ」 地元で働く魅力を知る4日間——

生徒の職業観などを養うことを目的とした「愛媛ジョブチャレンジU-15事業」が7月1～2日、4～5日の計4日間、大洲市喜多郡内で行われました。内子町内の中学2年生約130人が参加し、協力してくれた各事業所などに分かれて職場体験をしました。

昭和刷子で歯ブラシづくりを体験した小東豪さんと兵頭一海さん（五十崎中）は「地元の大きな

会社で働いてみたかった。ものづくりの大切さがあった」。図書情報館で体験した松岡由樹さん（内子中）は「本の並べ方だけでも、いろんな工夫をしていると教えてもらった。将来は司書になりたい」と話しました。

同事業は昨年まで「職場体験学習」として行われていました。期間を長くすることで、より効果があがると期待されています。



1_五十崎幼稚園で保育士を体験。一緒に笹飾りを作った
2_図書情報館。本の貸し出し・返却の手続きなどを体験
3_歯ブラシの製品の仕方を教えてもらう生徒



山本 果凜さん（五十崎中2年）
広報紙づくりや文書係の仕事を体験。一丸レフカメラや編集ソフトを使い、2ページ目の「ぼくの夢わたしの夢」と、この記事を作成しました。

読み聞かせで親子の絆を深めてほしい 生命保険協会が69冊の絵本を寄贈

生命保険協会愛媛県協会（河野次郎会長）から内子・五十崎の両児童館、内子子育て支援センターに絵本が贈られ、7月26日に五十崎児童館で寄贈式が行われました。

同協会では社会貢献活動の一環として、読み聞かせによる親子の絆づく

りを推進しており、これまで47団体に776冊の絵本を贈っているそうです。河野会長が「お父さんやお母さん、先生と一緒に絵本を読んで、絆を深めてほしい」と呼び掛けると、子どもたちは早速、うれしそうに絵本のページを開いていました。



贈られた本を持って、河野会長（中央）と一緒に記念撮影

「レジ袋？ 要りません」 エコバッグでごみを削減しよう

内子町役場環境政策室は7月1日、内子フレックシユパークから「マイバッグキャンペーン」を行いました。この日、からは町内で初めてレジ袋を有料化。併せてアンケート調査やマイバッグの販売などをすることで、ごみ削減を啓発すること

が目的です。

活動に協力したECO-ZUKI内子のメンバー・伊達環美さんは「プラスチックごみによる海洋汚染の報道やレジ袋の有料化で、ごみへの関心が高まっている今、みんながエコバッグを広げましょう」と呼び掛けました。

学生が描く現代版の平家物語 四国学院大SARPが内子で公演



1_大きな傾斜を巧みに使い、さまざまな場面を表現した 2_磨いてきた演技力で観客を魅了

四国学院大学SARPの「平家物語REMASTER」が7月21日、内子座で公演されました。

SARPは、同大学の学生が主体で制作する公演の名称。プロの演出家・振付家とともにレベルの高い作品を創出しています。今回は歌舞伎などの演目にもある『平家物語』を、現代に生きる人々に通じる群像劇にしました。

内子座の客席の半分を

舞台に変え、迫力ある合戦シーンなどを表現。約126人の観客は、エネルギー溢れる学生たちの演技に釘付けになり、最後は鳴りやまない拍手を内子座に響かせていました。

今回の取り組みは、同大学と内子町の協力協定の二環で行われました。今後も滞在型の創作活動などを行いながら、交流を深める予定です。学生たちの活躍にご期待ください。



1_きれいな小田川でボートを楽しむ親子 2_投網で捕まえた鮎を手に、満面の笑みを見せてくれました(以上「川に遊ぶ!夏の親子体験」) 3_ワクワクしながらカブトムシの罠づくりに挑戦 4_クヌギの木の穴からカブトムシを探す達人

夏休みは内子の里山で親子旅 山で、川で、楽しい思い出いっぱい作ろう

田舎の夏を楽しんでほしいと、うちこグリーンツーリズム協会が、さまざまな夏企画を実施しています。

「カブトムシと五右衛門風呂の田舎の親子旅」は7月13・14の両日、お山の学校ながたで行われました。1泊2日でカブトムシ採りやピザ焼き、うどん作り体験など、本物の里山を満喫する旅に6組20人が参加。雨の影響でカブトムシはあまり捕れませんでした。五右衛門風呂や山の散策、屋外での調理など、親子で楽しい時間を過ごしました。参加者は「今度は家族全員で来たい」「息子と男同士の思い出ができた」と満足そうでした。

「川に学ぶ!夏の親子体験」は7月28日、からり橋周辺の小田川で行われ、約30人が参加しました。ボート遊びやリール巻き競争、川の生物観察などをした後、地元漁師と魚を捕まえる体験をしました。昼食は捕れたての鮎と羽釜飯。少し非日常的な川遊びを満喫する親子たちの笑い声が、終日、小田川に響いていました。

※内子の夏を遊ぶなら同協会のホームページをご覧ください。
☞<http://uchiko-gt.sakura.ne.jp/>



娘の挑戦を楽しそうに見守るお母さん

日本の粹な音色を親子で響かそう—— 伝統文化「三味線」のよさを体験・体感

親子で伝統文化に触れる「三味線親子体験教室」が7月16日、五十崎自治センターで開かれ、20人が参加しました。津軽三味線奏者の堀尾泰磨さんが講師となり、持ち方から丁寧に教える教室です。全7回あり、11月3日の五十崎文化祭で練習の成果を披露します。竹本涼花さん(内子小4年)は「指運びが難しい。練習して文化祭では上手に弾きたい」と目を輝かせていました。



高畑誠一氏の写真に見入る生徒たち

高畑誠一氏の企画展示開催に向けて 内子高校生たちが関係者に聞き取り調査

内子町名誉町民・高畑誠一氏の偉業を今に伝えようと、内子高等学校の2年生12人が7月19日、内子自治センターで親族の高畑祥子さんや関係者などに聞き取り調査を行いました。祥子さんは生徒に昔の写真や直筆の手紙などを見せながら、当時のことを説明。生徒たちの質問にも丁寧に答えていました。調査内容は同センターが11月から開催する、高畑誠一企画展に展示されます。

楽しいこと考えて地域をいこらそう 小田地域の有志が「小田未来いこころ会議」

小田地域の未来を考える「小田未来いこころ会議」は6月12日、どい書店で開かれました。有志約30人が参加し、地域おこし協力隊の岡山紘明さん、同OBの山内大輔さん、納堂邦弘さんの近況や活動などについて耳を傾けました。発起人の久保宮賢次さんは「『いこころ』は元気の源という意味。頑張っている人の姿に力をもらって、小田地域を盛り上げたい」と意気込みを語りました。



会議の趣旨を説明する久保宮さん(右)

見て・聞いて・触って学ぶ心臓のこと 喜多医師会病院が「健心祭2019」を開催

心臓疾患に対する知識向上や啓蒙を目的とした「健心祭」が6月30日、大洲市の喜多医師会病院で開かれました。医師たちが「心房細動と脳梗塞」をテーマに講演をした他、看護服の試着やヨーヨー釣りなどができる「お祭り広場」や、内視鏡やリハビリ器具が触れるコーナーなど、催しが盛りだくさん。大勢の家族連れなどが来場し、楽しみながら健康について学んでいました。



真剣な表情で心肺蘇生法を学ぶ子どもたち

豊かな川と、きれいな水と、キラキラの笑顔 雨が降っても楽しい「元気わくわく川まつり」

「元気わくわく川まつり」(同実行委員会主催、上石富一実行委員長)が7月14日、五十崎自治センターで開かれ、約600人が参加しました。多数のボランティアが協力し、ニジマス釣りやシャボン玉遊びなどを実施。ウナギのつかみ取りでは、子どもたちが歓声と水しぶきを上げて獲物を追いかけてました。上石さんは「昨年は豪雨で中止だったので、みんなの笑顔が見られてよかった」と喜びました。



ウナギを上手に捕まえて、笑顔がはじける

内子本町商店街の伝統行事 夏を彩る「うちこ夏祭り」

恒例の「うちこ夏祭り」(同実行委員会主催)は7月14日、内子本町商店街で開かれました。目玉は各店が店の商品や作品にする「造り物コンテスト」です。今年はフローリストやまおかの、花びらで作った「トリックアート」が金賞を受賞しました。会場では大屋台村や子ども向けのスタンプラリーなどがあった他、祭りを締めくくる300発の花火が上がり、商店街の夏の夜を彩っていました。



フローリストやまおかの作品「トリックアート」で記念撮影



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめての バースデー

8月に満1歳になる
子どもたちを紹介します。

8.12



宮瀬 葵光ちゃん 内子4
優しくて面白い、にいが大好き♡
にいに、いっぱい遊んでね♡

8.7



中田 圭くん 内子19第1
いつも笑顔いっぱい!! たくさん
食べて大きくなるぞ!

8.29



西岡 華ちゃん 内子13
私はお姉ちゃんと遊ぶのが大好き
です。

8.14



古川 千歌ちゃん 上目ノ地
いつも元気いっぱい! お姉ちゃん
にお兄ちゃんには負けないぞ☆

8.14



下元 優ちゃん 小田上
よく食べて、よく笑って、元気
いっぱい! お兄ちゃん大好き☆

みんなが
見つけた

内子のいいところ「うちコト」

インスタグラムで「#うちコト」を付けて投稿してくれた
写真を紹介します。



odaijiodaさん

小田のふるさとの味「たらいうどん」



jami_uenonさん

恵の雨に顔をのぞかすカエル



b6y114302aさん

八日市・護国地区の町並み



kkj.134.takaさん

石畳地区にある弓削神社の「屋根付き橋」と菖蒲の花。今年もきれいな花を咲かせました

すてきな写真の投稿をありがとうございました。



uchikoto_official

うちコト
内子町公式Instagram



「うちコト」では内子の日常や暮らし、風景など内子のコトを発信中です。皆さんもInstagramの投稿に「#うちコト」を付けて内子町の魅力を発信してみませんか。

FROM ME TO YOU

みんなであつないでリレーエッセイ

「30歳からの勉強」

石崎恵美子さん(35)
|| 東沖 ||



夫婦で内子にカフェを開業して、今年で5年目になります。主人は内子町出身ですが、私は大洲市出身なので、まだまだ知らないことがたくさんあります。お店に来てくれるお客さんの方が内子のことをよく知っていて、教えてもらうことも多いです。たまに運動を兼ねて町並みを歩くと、観光客や海外の人がたくさんいるなど改めて思います。海外からのお客さんもお店によく来てくれるので、少しでも役に立ちたいと思います、2年前から英会話の勉強を始めました。

内子自治センターで英会話教室やドイツ語教室などを開催してくれるので、とっても助かっています。初級クラスから勉強し、今は中級にトライしています。ALTの先生や同じクラスの人が優しく教えてくれるので、楽しく勉強しています。英語なんて全く話せず、海外の人がお店に来てても戸惑っていましたが、今はメニューを紹介したり、少し会話ができたりするようになりました。英会話を習ったのもよかったです。もっとコミュニケーションを取りたいので、これからも続けていこうと思います。

▼次は、大本あゆみさん || 内子第2 || お願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

「今月の食改さん」



吉岡 春子さん
=内子16=

●材料(4人分)

- キュウリ 2本
- ニンジン 30g
- ミョウガ 2個
- ショウガ 1/2個
- 刻み昆布 50g
- ④ 塩 適量
- すりごま、砂糖、酢 大さじ1

●作り方

- ①キュウリはめん棒でたたき、乱切りにする。ニンジンは千切りにし、軽くゆで、キッチンペーパーで拭いておく。
- ②ミョウガは千切りにし、刻み昆布はゆでておく。
- ③①②の材料を混ぜ合わせたら、④の調味料を加えて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

「キュウリとミョウガの昆布あえ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」8月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ① 10月5日は「○○○○●○○○○」
内子座公演
- ② 創業の知識を学べる、全5回の「○○○○○○○○●○○○」in内子
- ③ 知っていますか、「○○○○●○○○」
○」を目指す3つの法律
- ④ マナーからルールへ——。無くそう、
望まない「○○○○●○○○」
- ⑤ 消費者の視点で点検。食品表示「○○○○●○」を募集します
- ⑥ 所有者の責任です。危険を未然に防
ぐために、「○○○○●○○○」などの安
全点検をしよう

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください(1人1通まで)。正解者の中から抽選で10人に図書カード(500円)をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：8月31日(消印有効) 当選者発表：「広報うちこ」10月号

● 6月号当選者の皆さん

答え「さくらんぼ」正解数41

- ・河崎 夏葉さん (内子5)
- ・大本 悦子さん (内子18第2)
- ・前野美恵子さん (護国)
- ・福山 勇さん (大岡)
- ・徳永 隆さん (川中2)
- ・中井ゆき子さん (北深)
- ・河内 美子さん (本村)
- ・山本すゝかさん (上町)
- ・西岡喜代和さん (寺成)
- ・細川 里美さん (松山市)

まだ食べられるのに捨てられる食品のことを「食品ロス」といいます。国内の食品ロス排出量は、年間約640万トン。飢餓に苦しむ人々への食糧援助量の約1.7倍に相当します。もったいないと思いませんか。



「もったいない」
食品ロスを減らそう

- ▽食品ロスが発生しやすいのが、宴会などの楽しい食事の席です。つい話が盛り上がり、料理が大量に残ってしまった、という経験はありませんか。次の点を実践して、食事を食べきるよう心掛けましょう。
- 《食品ロスを減らすポイント》
- ▽適量を注文する
- ▽乾杯前に、幹事が声掛けをする
- ▽開始30分と終了10分前は食事を楽しむ「30分10運動」を徹底する
- ▽食べきれない料理はみんなで分け合う

- ▽食べ残しがないか、最後に全員で確認する
- 《おいしい食べきり宣言 事業所を募集しています》
- 愛媛県では、「食べきり宣言」の事業所を募集しています。登録事業所には、登録証や社内研修などに使える啓発資料を交付します。詳しくはホームページをご覧ください。
- ▶ www.pref.ehime.jp/h15700/tabekiri/30sengenjigyosyo.html
- 【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

プロサッカー選手へと続く道

かずもり
日浦 和守さん(15) 内子11

新田高校サッカー部は県総体で優勝を果たし、インターハイ出場が決まりました。1年生ながらメンバー入りした日浦和守さんは「インターハイでは持ち味のスピードやドリブルで相手の守備をかき乱し、ゴールを決めたい」と意気込みます。

日浦さんの夢は、プロサッカー選手。夢への近道と、中学時代は県内の強豪クラブチームで汗を流していました。「学校から帰り、毎日片道40分掛けてチームに合流。家に帰るのはいつも夜10時ごろだった」と振り返ります。今も部活が終わった後、一人グラウンドに残って練習に励むなど努力を惜しみません。監督の小野先生は「本当にサッカーが好き。これから楽しみなルーキー」と一目置きます。さらに愛媛県のU-16にも選出されている日浦さんは、国体でも全国大会出場を目指しています。「小学3年からサッカーを始め、常に夢を応援してくれる親のありがたさを感じている。プロになることが一番の恩返し。まだまだ強くなる新田高校サッカー部で、自分の技を磨き続けたい」と力を込めました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

旅行好きな私



FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

国際交流員

ドレーン・アルント

Doreen Arndt

夏休みの予定は決まりましたか。旅行を計画する人もいないのでしょうか。好奇心が旺盛な私は、若くて動けるうちに世界中を旅したいと思っています。テレビの旅番組を見たり旅行雑誌を読んだり、友達の土産話を聞いたりするだけでは物足りなく感じます。実際に旅行をすると、五感を使って体験することができます。

これまでに訪れた国は39カ国。現地でたくさんの体験をしてきました。イースター島の大きなモアイ像が目の前に現れたときや、アイスランドで氷河の中に入り、氷の壁を触ったときは感動して鳥肌が立ちました。オーストラリアでタスマニアデビルの鳴き声を聞いたときは、本当に恐ろしかったで

す。マレーシアでは世界で最も臭い果物といわれている、ドリアンの匂いに圧倒されました。中でも一番の冒険は、小笠原諸島の父島でウミガメ料理を食べたことでしょうか。次は21世紀に残る数少ない社会主義国、キューバに行く予定です。伝統的なキューバの文化に触れて、サルサダンスも体験したいと思います。

知らない国に行くと、自分の国の良さを再発見することができます。いつも旅先から帰ると、日本の治安の良さや、おもてなしの心には驚かされます。行ってみたい国や学びたいことがまだまだ山ほどあります。人生は短いもの。自分の視野を広げる旅に、今すぐ出掛けたいです。



気軽に学べる 外国語講座

～受講生募集中～

当協会では高校生以上を対象に、英語とドイツ語の講座を開講しています。どのコースも見学できますので、自分に合った講座を見つけてください。希望者は事務局までご連絡ください。

英会話 English

講座① 英語の世界へようこそ

- ▶先生 日本人講師・ALT(隔週)
- ▶開催日 火曜日(1回500円)
- ▶時間 午後7時～8時
- ▶内容 英語を基本から学べます

講座② 英語で伝えましょう

- ▶先生 ALT
- ▶開催日 水曜日(1回500円)
- ▶時間 午後7時30分～8時30分
- ▶内容 中学校程度の英語で、身近なことを表現します

講座③ Let's talk about the world.

- ▶先生 ALT
- ▶日時 木曜日
(1回社会人1,000円、高校生500円)
- ▶時間 午後7時30分～9時
- ▶内容 英語で行う授業。世界のことを英語で話す

ドイツ語 Deutsch

各講座の内容

講座④ Guten Tag!からはじめるドイツ語

- ▶先生 CIR
- ▶開催日 水曜日(1回500円)
- ▶時間 午後7時～8時
- ▶内容 初めてドイツ語を学ぶ人に、基礎から丁寧に教えます

講座⑤ もっとドイツ語を学びましょう

- ▶先生 CIR
- ▶開催日 水曜日(1回500円)
- ▶時間 午後8時15分～9時15分
- ▶内容 初級文法を一通り終了した人向け

- ▶対象 高校生以上
- ▶場所 内子自治センター
- ▶期間 9月～令和2年6月
- ▶ALT=外国語指導助手、CIR=国際交流員

全講座
共通事項

タニアさん、ありがとう

ALTのタニアさんが1年の任期を終え、帰国することになりました。7月5日、内子自治センターでお別れ会が開かれ、約60人の参加者が別れを惜しましました。タニアさんの今後の活躍をお祈りします。



参加者みんなで記念撮影

お知らせ

第25回 青少年海外派遣事業報告会

派遣生の子どもたちが、海外で学んだことや感じたことを発表します。どなたでも参加できますので、派遣事業の成果と子どもたちの成長を見に来てください。

- 日時：8月20日(火)午後7時～
- 場所：内子自治センター



図書館 へ 行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
☑ http://www.town.uchiko.
ehime.jp/
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日

●内子町読書感想文募集

秋の読書週間に「第14回内子町読書感想文」の作品を募集します。読書で感動したことを文章にまとめてみましょうか。

◎応募資格 町内在住・在学の小・中学生、高校生、一般

◎応募用紙 原稿用紙、縦書きで自筆のもの

◎字数

▽小学校低学年(800字以内)

▽小学校中・高学年(1200字以内)

▽中学校・高校・一般(2000字以内)

※題名・学校名・氏名は字数外

◎応募期限 10月4日(金)

◎その他 入賞作品は読書感想文集に掲載し、入賞者には賞状と記念品を贈ります。

●新しいDVDを入荷

《日本映画》彼らが本気で編むときは、/家康、江戸を建てる/日は好日/終わつた人/空飛ぶタイヤ/羊と鋼の森/万引き家族

《外国映画》ボヘミアン・ラプソディ/プーと大人になった僕/ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生/ドリム

《アニメ》インクレディブル・ファミリー/おしりたんてい

2/おはよう!コケッコー

さん1/レスキューせんエリ

アスと海ではたらく仲間たち

文学講座

▽8月17日(土)午前10時

▽内容「文豪とおんなたち」

▽講師 村山洋子さん

おはなし会

▽土曜日・午後2時

8月3日 ゆりかご

10日 むしこまど

17日 むしこまど

24日 どんぐり会

●8月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家④》

▽「うちこのトンボみつけた!」身近な水辺の生き物展

(NPO法人内子未来づくりネットワーク、内子町環境政策室)

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



暁天の星

葉室麟/著

たとえ批判にさらされようとも、外交官・陸奥宗光は上を向いて歩き続けた。著者が「書いておきたい」と願い病と闘いながら残した未完の大作



高校生ものづくりの魅力

技術教育研究会/編

「ものづくり」を通じて、自信と力を蓄え、未来を創る担い手として歩み始める農業系専門高校生や工業高校生の様子を教師の目線でつづる

♥児童図書



イライラ虫と・ま・れ

ちだのぶこ/作

ヒロ君のおなかの中で、イライラ虫が暴れているみたい。おばあちゃんが教えてくれる、イライラを収めるとっておきの方法とは……



フシギなさかなヒメタツのひみつ

尾崎たまき/文

かくれんぼが上手なタツノオトシゴの新種「ヒメタツ」は、お父さんが赤ちゃんを産む、不思議な魚です。ヒメタツの秘密を美しい写真で紹介

○町営住宅の入居者を募集します

- 住宅の規格・家賃など
- 1 土居第1団地104号・201号(内子地区)
 - ▽住所 内子3590番地
 - ▽構造 中層耐火3階・H8建
 - ▽面積他 74・70㎡、3LDK
 - ▽家賃(月額) 2万5200円
- 2 高岡団地103号・203号401号(内子地区)
 - ▽住所 内子2602番地
 - ▽構造 中層耐火4階・S50建
 - ▽面積他 47・40㎡、2DK
 - ▽家賃(月額) 1万1700円
- 入居資格 (1)~(3)を満たす人
 - (1) 同居中または同居しようとする親族がある人
 - (2) 住宅に困窮している人
 - (3) 収入基準を超えないこと
- 共通事項
 - 入居時には敷金が必要
 - 家賃は入居者の収入で決定
 - 駐車場なし
- 申込期限 8月19日(月)
 - ※申込書は建設デザイン課・内子分庁・小田支所にあります。
- 【申込・問い合わせ】
 - 建設デザイン課 管理係
 - ☎0893(44)6157

○止水栓、簡単確認で事故防止

止水栓が壊れていると、屋内の水道管が壊れたときに水を止めることができず、床などが水浸しになることがあります。止水栓が壊れていないか、一度ご確認ください。

修理は無料でできます。建設デザイン課上下水道対策班水道係までご連絡ください。

【確認方法】

- ①蛇口をひねり、水を出す
- ②止水栓を閉め、パイロットが

回転しないことを確認



【問い合わせ】

建設デザイン課 上下水道対策班水道係

☎0893(44)6158

○創業に必要な知識と支援をここで全5回の「創業塾セミナー」内子

- 日時 8月21日~9月18日(毎週水曜日、全5回)、午後6時30分~8時30分
- 場所 内子自治センター
- 受講料 無料
- 対象者 創業を予定、検討している人、起業して間もない人。町外の人も可
- 定員 20人程度
- 申込期限 8月19日(月)
- その他 詳細は内子町のホームページをご覧ください。
- ☎https://www.town.uchiko.ehime.jp/
- 【申込・問い合わせ】
- 町並・地域振興課 商工係(内子分庁内)
- ☎0893(44)2118

○特別養護老人ホーム「みどり苑」調理師の職員を募集します

- 職種/人数 調理師/若干名
- 応募資格 調理師免許と普通自動車運転免許を有する人
- 採用時期 2年4月1日(予定)
- 一次試験
 - ▽試験日 10月5日(土)
 - ▽場所 みどり苑
 - ▽内容 教養試験、作文
- ※二次試験の詳細は、一次試験合格者に通知します。
- 勤務条件など
 - ▽給与 高卒14万1900円以上
 - ※初任給は最終学歴・職歴などをもとに決定
 - ▽その他 土・日・祝日、年末年始の勤務あり
- 申込方法 申込書、履歴書、必要資格証明書の写しを提出
- ※申込書・履歴書はみどり苑事務所にあります。ホームページからもダウンロードできます。
- ☎http://userweb.u-broad.jp/ozukita-midori/index.html
- 申込期限 9月6日(金)
- ※郵送は、期限内必着
- 【申込・問い合わせ】
- 特別養護老人ホームみどり苑
- 〒791-3311
- 内子町立山4740番地1
- ☎0893(45)0141

10月から始まる新制度、「年金生活者支援給付金」認定請求の手続きを忘れずに



Q: 年金生活者支援給付金は、どんな制度ですか
 A: 年金を含めても所得が低く、経済的な援助が必要な人に対して、年金に上乗せして給付する制度です。

Q: 給付金の対象者や金額を教えてください
 A: 給付金には次の3つの種類があります。

- ①老齢年金生活者支援給付金
- ②補足的老齢年金生活者給付金
- ③障害・遺族年金生活者支援給付金

給付金の種類ごとに、支給要件を満たしている人が対象です。給付金の金額も種類によって計算方法などが異なります。詳細については、年金事務所にお問い合わせください。

Q: どうすれば請求手続きができますか
 A: 9月ごろ、日本年金機構が対象者に給付金請求書を送付します。届いたら必要事項を記入

し、速やかに日本年金機構に返信してください。

Q: 支給開始時期は、いつごろですか
 A: 初回は12月です。10・11月の2カ月分が12月の年金に上乗せして給付されます。

Q: 妻と暮らしています。要件を満たす場合は、2人とも給付金を受け取ることができますか
 A: 受け取れます。給付金は対象者一人ずつに支払われます。

Q: 給付は1回限りですか
 A: 給付金は恒久的な制度です。支給要件を満たしていれば、継続して給付されます。

【問い合わせ】

- 松山西年金事務所
- ☎089(925)5105
- 住民課 国民年金係
- ☎0893(44)6152

内子の花火に感動しよう

— 花火の夏が、やってきた —

いかざき夏まつり花火大会

●開催日 **8月14日(水)**
 ※雨天時は15日(木)

●場所 豊秋河原

●主な催し

- ・午後7時ごろ~ 和紙行灯
- ・午後8時ごろ~ 打ち上げ開始

【主催・問い合わせ】

五十崎商工連盟(担当: 亀岡)

☎090(8697)0770

寺村山の神火まつり

●開催日 **8月15日(木)**
 ※雨天時は16日(金)

●場所 寺村商店街

●主な催し

- ・午後6時30分~ ライブ演奏
- ・午後8時~ 第1回花火打ち上げ
- ・午後9時~ 第2回花火打ち上げ

【主催・問い合わせ】

内子町役場小田支所

☎0892(52)3111

○内子座の舞台で本物の演劇を体感
「ぼこクラブ」特別公演・出演者募集

内子町では、11月10日に開催する演劇公演の出演者を募集しています。

脚本・演出を手掛けるのは「ぼこぼこクラブ」。鴻上尚史（しょうじ）さんが主宰する、「虚構の劇団」に所属する俳優らが旗揚げした演劇グループです。4週間、内子町に滞在し、「劇団オーガンス」と一緒に内子座ならではの演劇を創作する予定です。

公演日までに2回のワークショップを開き、出演者を決定します。経験の有無は問いませんので、演劇が好きな人や新しいことに挑戦したい人は、ぜひご応募ください。

- 日時 8月27日(火)・28日(水) 午後6時30分～9時
 - 場所 内子座
 - 内容 簡単な演劇や本読みなどで演技を学ぶ
 - 応募資格 20歳以上の人で11月10日の本公演、10月15日以降の練習に参加可能な人
 - その他 動きやすい服装、上履きや飲み物を持参
- 【申込・問い合わせ】
町並・地域振興課 伝統文化施設係
☎0893(44)2118

○深山の未来は？ 新施設はどうなるん？
小田深山を語るフォーラムを開催

小田深山の魅力の再発見や新施設の活用を考える「小田深山から広げる内子のまちづくりフォーラム」を開きます。

- 日時 8月29日(木) 午後7時
 - 場所 内子町林業センター
 - 内容 小田深山の自然の魅力とは
- ▼新施設の概要と誘客事業



新緑の季節の小田深山

【問い合わせ】
内子町役場小田支所
☎0892(52)3111

○夏季農業用廃プラスチックの回収日

農家で不用になったマルチやビニールシートなどの農業用廃プラスチックを回収します。搬出物はリサイクルしますので、この機会を利用して適正な処分にご協力ください。

- 回収日時 8月30日(金) 午前8時30分～午後4時
- 場所 和田柿選果場
- 搬出方法 1しめ当たり10～15kg程度とし、次の①～③の種類に分別してください。

- ①塩化ビニール／②ポリエチレンフィルム／③その他
 - 注意事項
▼運搬する廃棄物の種類と量、購入元を確認した上で、搬出してください。
 - ▼運搬する車両に「廃棄物収集車」と表示してください。
- 【問い合わせ】
産業振興課 農村支援センター(内子分庁内)
☎0893(44)2199

○「健康まつり2019」に参加して
いつまでも元気に長生きしよう

生活習慣病の原因は、食生活の乱れや運動不足などの悪習慣です。「健康まつり」で日ごろの生活を見直し、自分の健康を守りましょう。

- 日時 9月7日(土)
- 場所 内子町共生館
- 主な内容
▼午前9時30分～
開会式、高池健康づくり優良者表彰式
- ▼午前10時～ 講演1「内子町寄附講座10年の総括」／講師

松浦文三さん(愛媛大学地域生活習慣病・内分泌学教授)
▼午前10時15分～ 講演2「これからは元気に過ごしていくために」生活習慣病と「がん」

- ▼午前11時20分～ 体操、健康相談、展示、バザー他
- ※水分補給のため、お茶などを持参してください。
- 【問い合わせ】
内子町保健センター
☎0893(44)6155

人権コラム*幸せへの道

知っていますか、
差別解消を目指す3つの法律

互いの人権を尊重する社会を実現するために

差別に苦しむ人々をなくすためには、私たち一人一人の行動が大切です。新たな法律の趣旨を正しく理解することが、そのひとつの手助けになります。人権問題が自分自身に関わる身近なものと感じ、考えるために、まずは法律を知ることから始めてみませんか。

【障害者差別解消法】

障がいのある人もない人も、分け隔てられることなく、人格と個性を尊重しながら共に生きる社会をつくることを目指す法律です。

この法律では国や県、市町村、事業者に対して「不当な差別的取り扱い」を禁止しています。社会的障壁(*)を取り除くため、合理的な配慮を提供することを定めています。

*社会的障壁——障がいのある人にとって、日常生活や社会生活を営む上で、障壁となるような社会

における事物、制度、その他のことをいいます。

【ヘイトスピーチ対策法】

民族や国籍などの違いを超え、互いに人権を尊重する社会を築くことを目指す法律です。

日本以外の国・地域の出身者やその子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排斥することを扇動するような言動をなくすための取り組みを定めています。

【部落差別解消推進法】

部落差別のない社会を実現することを目的としています。「部落差別は決して許されないもの」という認識のもと、情報提供や相談体制の充実、教育・啓発、実態調査など、国や自治体の責務を明記した理念法です。

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114

大蔵流狂言師と内子町の子どもたちが笑いと感動を届けます
茂山狂言内子座公演

狂言の名門・茂山千五郎家の公演です。第1部は無料で、さらに成長した内子こども狂言クラブが演技を披露します。

今回は、内子町産の果物をふんだんに使ったスイーツを提供する特別席もあります。会場外での物販もありますので、ぜひ、ご来場ください。

- 日時 10月5日(土) 午前10時30分開場
- 《第1部》内子こども狂言クラブの披露会
▷時間 午前11時～
▷演目 「かみあそび」「土車」「口真似」「くまびら菌」ほか
- 《第2部》茂山狂言
▷時間 午後2時～
▷内容 「栗焼」「附子」「茶壺」
- 料金 スイーツ指定席5,000円／指定席3,000円／自由席2,500円(中学生以下1,500円)／親子券3,000円(大人1人と中学生以下1人)

- 購入方法
▷販売開始 8月14日(水)～
▷取扱店など 内子座、町並・地域振興課、いよてつ高島屋、ローソン(Lコード:62712)
- 主催 内子町文化創造事業実行委員会
- 共催 内子町、内子町教育委員会



有名な演目「附子」の一場面

ブロック塀などの安全点検をしよう

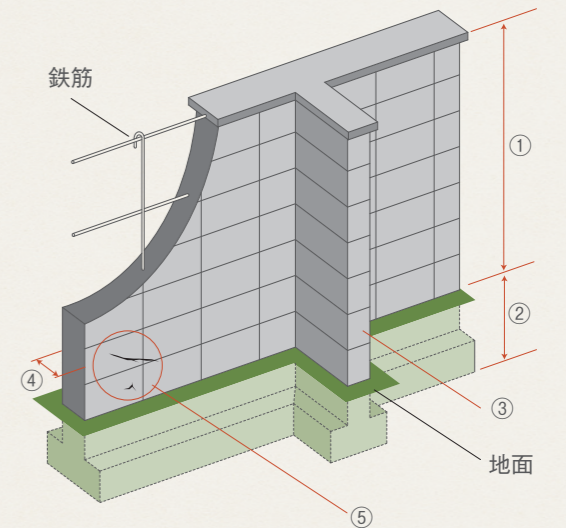
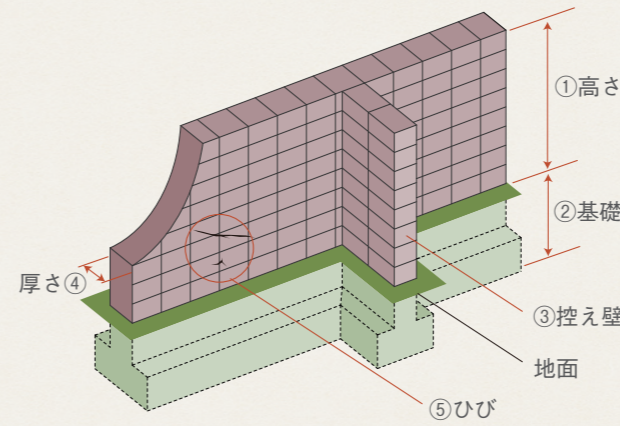
【問い合わせ】建設デザイン課 建築営繕係
☎0893(44)6157

大きな地震が発生すると、建物だけでなく塀や擁壁などが倒れ、大きな被害につながることがあります。特に道路沿いにある塀が倒れると、通行人などに危険が及ぶ他、緊急車両の通行の妨げになり、避難や救助に支障をきたします。

ブロック塀などの安全確保は、所有者の責任です。危険を未然に防ぐため、自宅の塀の安全点検を、下記を参照に行ってください。条件に適合しない項目がある場合は、速やかに専門家に相談し、除却や改修を検討してください。

Check

あなたの家の塀は安全ですか—安全点検チェック項目—



●れんが・石・鉄筋のないブロックの場合

- ①塀の高さが地盤から1.2m以下になっている
- ②深さが20cm以上の基礎がある
- ③4mごとに厚さの1.5倍以上の長さの控え壁がある
- ④塀の高さの1/10以上の厚さがある
- ⑤塀に傾きやひび割れがない

●鉄筋のあるブロックの場合

- ①塀の高さが地盤から2.2m以下になっている
- ②深さが30cm以上の基礎がある
- ③約3mごとに①の1/5以上の長さの控え壁がある
- ④塀の厚さが10cm以上ある(①が2m以上は15cm)
- ⑤塀に傾きやひび割れがない



内子町は危険なブロック塀などの撤去や建替えを行う人に対して、その工事などに係る費用の一部を補助します。

【補助の概要】

- 対象者 町内のブロック塀などの所有者で、町税を滞納していない人
- 補助対象物件 町内の道路沿いにあるブロックやレンガ、石などで作られたブロック塀または擁壁で、内子町の基準で危険と判断されるもの
- 補助対象経費 ブロック塀などの除却・建替えを行う工事に係る経費
- 補助額 補助対象経費の3分の2以内。上限は30万円。ブロック塀などの延長1mにつき8万円を限度額とする。

募集

消費者の視点で点検「食品表示ウォッチャー」

愛媛県では地域で食品表示のモニター活動をする「愛媛県食品表示ウォッチャー」を募集しています。

- 内容 買い物をするときに、食品の品質表示の状況を確認し、月に1回報告する
- 募集人数 1人
- 応募資格 次の(1)～(3)をすべて満たす人

- (1)11月1日現在で満18歳以上
- (2)愛媛県内に居住していること
- (3)県の食品表示研修会(年1回)を受講できること

●任期 11月1日～令和3年10月31日(2年間)

●謝金 年額1万2000円以内

●応募方法 申込書に必要事項を記入し郵送またはFAX、メールで提出

※申込書は役場本庁住民課にあります。愛媛県農産園芸課のホームページからもダウンロードできます。

☎<https://www.pref.ehime.jp/h35500/bosyuu.html>

●申込期限 8月30日(金)

【申込・問い合わせ】

南予地方局産業振興課 農産物安全係

☎0895(28)6145

FAX 0895(22)1881

☎nan-sangyo@pref.ehime.jp

第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト

環境省では香りのする樹木や草花を用いたまちづくりの企画を募集しています。

環境大臣賞には、副賞として50万円相当の苗木などを贈呈します。個人や住民団体などなたでも応募できます。



過去の実績企画「香りの道は地域をつなぐプラットフォーム」/兵庫県淡路市

●応募要件

- ▽30本以上の香りの樹木や草花などを使用する企画であること
- ▽実施を想定し、植栽場所を確

保している企画であること

●応募期限 9月13日(金)

※詳しくは環境省のホームページでご確認ください。

☎<http://www.env.go.jp/air/midori-kaoru/index.html>

【問い合わせ】

環境政策室
☎0893(44)6159

愛媛県警察官を募集します

《愛媛県警察官(高校卒業程度)》

●採用予定人数(愛媛県)

▽男性 27人程度
▽女性 6人程度

●受験資格 次の(1)～(3)の全てに該当する人

- (1)日本国籍を有する人
- (2)地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
- (3)昭和62年4月2日～平成14年4月1日までに生まれた人

(大学を卒業した人、令和2年3月末日までに卒業する見込みの人は除く)

●一次試験

▽期日 10月19日(土)、20日(日)

▽場所 松山東高等学校

●受付期間 8月29日(木)～9月17日(火)

※試験の詳細は愛媛県警ホームページでご確認ください。

☎<https://www.police.pref.ehime.jp/keimu/saiyou/shikenzyouhou.htm>

【問い合わせ】
愛媛県警察本部 警務課

☎089(934)0110



募集のポスター

開発途上国との懸け橋へ「JICA海外協力隊」募集

あなたの技術や経験を開発途上国で生かしてみませんか。

●応募期間 8月20日(火)～9月29日(日)

※応募要項など、詳しくはJICA海外協力隊のホームページをご覧ください。

☎<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

【問い合わせ】
JICA海外協力隊募集事務局
☎03(6734)1242

催し

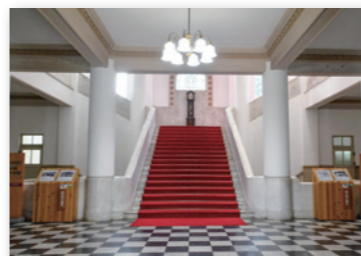
「まじめえひめ」の県庁を
楽しく見学するチャンス

歴史ある愛媛県庁本館の中を見学できる「休日県庁見学」を開催します。

- 日時 8月24日(土)、9月7日(土)／午前11時～、午後1時30分(全4回)
- 場所 愛媛県庁本館
- 定員 各回30人
- 申込方法 参加希望日の前日の正午までに電話またはメール、FAXでお申し込みください。

【申込・問い合わせ】
愛媛県広報広聴課

☎089(912)2243
FAX089(912)2248
E-mail:kohokochi@pref.ehime.jp



現役の都道府県庁舎では3番目に古い愛媛県庁本館

うちこ福祉館の行事案内

《やさしい人権講座》

- 日時 8月29日(木) 午後7時

●場所 うちこ福祉館

●演題 「同和教育と共に」

●内容 災害時の人権についてなど

●講師 宝本志保さん(吉田広域隣保活動相談員)

●参加費 無料

《わいわい喫茶》

- 日時 9月2日(月) 午後1時～4時30分

●場所 うちこ福祉館

●参加費 無料

《健康講座(調理実習と講話)》

- 日時 9月18日(水) 午前9時30分

●場所 うちこ福祉館

●内容 血糖値を上げない食事／講話「からだにやさしい食事術」

●定員 15人

●講師 内子町管理栄養士

●参加費 1人 300円

●持参品 エプロン、頭巾

【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館

☎0893(44)3410

お知らせ

保健センターの「こころの相談日」

保健センターでは「こころの相談日」を実施しています。自分や家族のことで、心配や悩みはありませんか。

相談は無料で、秘密は厳守します。気軽にご相談ください。

- 日時 9月5日(木) 午前9時～正午／午後1時～4時 ※1人1時間程度
- 場所 五十崎保健センター
- 対象 本人または家族の人

楽しい食事と会話は口の健康を保つことから

無料の歯科口腔健診を実施します。

●対象者 愛媛県後期高齢者医療の被保険者の人。ただし、次の人は対象外となります。

●病院または診療所に6か月以上

●病状または治療に6か月以上

●相談担当 幸田裕司さん(心理療法士)

※9月3日(火)までに電話で予約してください。

【申込・問い合わせ】

内子町保健センター

☎0893(44)6155

9月9日は救急の日



「救急の日」は救急医療などについて、正しい理解を深める日です

●救急医療機関と救急車の適正利用

休日や夜間の救急病院に軽症の患者が集まると、医師やスタッフの負担が増え、十分な治療ができなくなる恐れがあります。安易な救急車の呼び出しで、重症な患者の搬送に困るケースも増えています。一人一人が適切な利用を心掛けてください。

●困ったら、迷ったら

休日や夜間にどの病院に行けばいいかわからないとき、救急車を呼ぶかどうか迷ったときは電話でご相談ください。

▷消防署の音声案内サービス

☎0893(24)7000

▷こども医療電話相談

#8000

●救急当番医

『広報うちこ』またはえひめ医療情報ネットでご確認ください。

☞<https://www.qq.pref.ehime.jp/>

8.24日・25日

午前10時～午後3時 雨天決行

※荒天の場合は中止します。

標高1000mで林業体験とキャンプ! ワンツーツリーフォレスト

自然豊かな小田深山で、今年で3回目となる林業の学習型アウトドアイベントを開催します。木を切って運ぶきこり体験や、廃材のものづくりをする木工体験、キャンプなど、いろいろな山遊びが体験できます。

●場所 ソルファオダスキーゲレンデ

●入場料 500円

※3歳以下は無料。別途料金が必要な催しもあります。

※事前予約でキャンプ宿泊もできます。宿泊は有料で数組限定です。詳しくはホームページでご確認ください。

☞<https://www.1234est.com/>

【主催・申込・問い合わせ】

ワンフォレ実行委員会事務局

☎0893(44)2123



- たこ足配線をしていない
- コンセントやプラグは、ほこりが溜まらないよう、きれいに保っている
- 古いものや傷みのあるコードは使わない
- プラグはまっすぐ、しっかりと差し込んで使用している

【問い合わせ】

内子消防署
☎0893(43)0119

地球にも財布にも優しく「家庭できる省エネ対策」

次の項目に気を付けて、家電機器の省エネルギー対策を実践しましょう。

●家庭でできる省エネ対策

- 冷蔵庫／設定温度を適切にして、ものを詰め込みすぎない
- 照明／白熱電球を蛍光灯ランプやLEDランプに取り換える
- テレビ／見ないときは消し、画面は明るくしすぎない
- エアコン／室温は28度を目安にし、フィルターは月に1回か2回掃除する

【問い合わせ】

四国経済産業局 エネルギー対策課
☎087(811)8535

●たかさご ●うぶごえ —♣男の子♥女の子— ●おくやみ

- 市川 大樹
- 大森 彩香
- 久保 和賢
- 土居 里佐
- 牧 伴也
- 増田 美智
- ♥高本 絵夢 (大輝 絵梨) 内子8
- ♣城戸 羅琉夢 (彩) 上村
- ♥山内 汐咲 (将 沙也加) 上村
- ♥岡田 梅佳 (将太郎 加奈代) 西沖

●まごころ銀行
皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。
内子町社会福祉協議会

- 藤崎 重信様 (内子13)
- 谷尾 禎子様 (中野)
- 山本 隆司様 (河内5)
- 舛岡 登様 (八代)
- 中田 富恵様 (中川西)
- 鯉口 浩二様 (鎌土)
- 久保永 巖様 (鈴ノ子)
- 泉田 英典様 (中田渡1)
- 高岡 英男様 (松山市)
- 中野 貴子様 (松山市)

9 月の相談日・救急当番医

●年金1日相談
日時：12(木)の午前10時~午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925)5110

●行政相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：町民会館/内子分庁/林業センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●人権相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：林業センター
問い合わせ：住民課 ☎0893(44)6152

- 大西 昭子 (96) 内子4
- 佐野ヨシエ (89) 内子15
- 梅田 重吉 (88) 護国
- 高岡 夏實 (87) 程内
- 坂本 秀夫 (82) 路木
- 村上 金一 (89) 江子
- 高岡フキコ (87) 立川袋口
- 田中マサヨ (94) 下立山
- 江川マリ子 (85) 河内4
- 中野 浪子 (94) 河内5
- 富永八重子 (79) 下宿間
- 向居トヨコ (87) 平成
- 梅木喜三郎 (89) 寺成
- 久保永ヨシ子 (99) 鈴ノ子
- 平 喜助 (94) 恩地
- 二宮豊加壽 (81) 小田下
- 上野 宗一 (86) 小田上

●まちの人口
(元年7月1日現在/()内は前月比)

・人口	16,458人 (△16)
	〔男性 7,907人 (△1)〕
	〔女性 8,551人 (△15)〕
・世帯数	7,125戸 (△9)

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(日)	山下小児科(西予市)	0894(62)6801
8(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
15(日)	ごうお小児科医院(大洲市)	0893(24)3936
16(月)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20)8800
22(日)	亀井小児科(大洲市)	0893(24)3757
23(月)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
29(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時~午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後8時~11時(平日・土・日曜日)

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が受診できます。

●救急病院

日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	加戸病院	0893(44)5500
木	日中：大洲記念病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(25)2022 0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893(24)4551 0894(22)3211

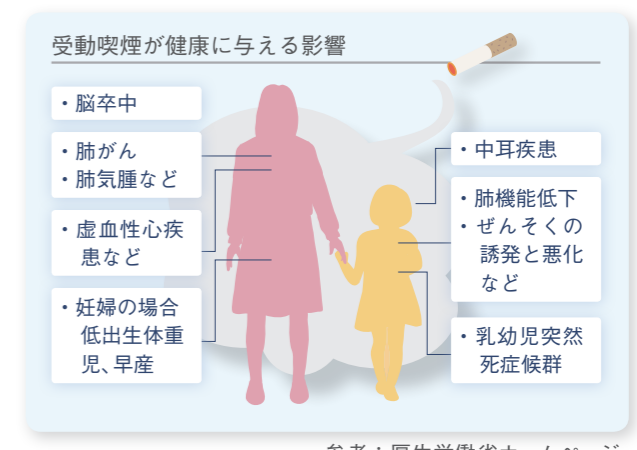
マナーからルールへ
無くそう、望まない受動喫煙

●受動喫煙を原則禁止へ
たばこを吸う人が直接吸い込む煙を主流煙、たばこの先端から出る煙を副流煙といい、受動喫煙とは、喫煙しない人が副流煙を吸ってしまうことをいいます。
望まない受動喫煙の防止を目的とする改正健康増進法が7月に成立しました。この改正法によって学校や病院、行政機関などの敷地内は原則禁煙になりました。飲食店や事業所などの屋内では、令和2年4月1日から禁煙が義務付けられます。

●内子町での取り組み
内子町では受動喫煙を防ぐため、7月1日から役場本庁・分庁・小田支所の敷地内を原則禁煙とし、屋外の防止措置が取られた場所に喫煙所を設置しました。喫煙者は周囲の状況に配慮し、受動喫煙を望まない人が健康で気持ちのよい生活を送れるようにルールを守りましょう。

●大切な人の健康も奪う受動喫煙
副流煙には、主流煙と比べて2倍から46倍も、体に有害な物質が含まれています。受動喫煙にさ

らされると肺がんや脳卒中、心臓の疾患などのさまざまな病気を引き起こす原因となります。妊婦や赤ちゃんにも悪影響を与え、低出生体重児や流産、早産などの危険も高まります。
厚生労働省の調査では、日本で受動喫煙によって亡くなった人は1年間で1万5千人になると推計されています。喫煙する人は、知らず知らずのうちに自分だけでなく、家族や周囲の人の健康も害する危険性があります。自分と大切な人の健康を守るためにも、禁煙に取り組みましょう。



9 月の健康カレンダー

●成人保健
特定健診、肺レントゲン、腹部超音波検診、肝炎検診、がん検診(胃がん・大腸がん・前立腺がん)

日	受付時間	場所
1(日)	午前8時30分~11時	内子保健センター

●母子保健
乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
12(木)	午後1時~1時15分	内子保健センター	30年12月、31年1月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
24(火)	午前9時15分~9時30分	内子保健センター	31年4月生まれ

育児相談

日	受付時間	場所	対象
2(月)	午前9時30分~10時30分	小田保健センター	乳幼児
4(水)	午前9時30分~11時	五十崎保健センター	
11(水)		内子保健センター	

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
19(木)	午前9時30分~10時	内子保健センター	29年6月・7月生まれ

【問い合わせ】
内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第 121 回

小田の魅力がみんなに届くように 「おだいじPROJECT」で情報発信

水本 誠時さん(25) 吉野川



◎愛用のカメラと作品を手に笑顔を見せる水本さん。地域おこし協力隊の岡山さんたちと、どい書店を拠点に活動中

合同会社「おだいじPROJECT」を今年3月に立ち上げた水本誠時さん。林業の仕事や地域イベントを写真や映像で記録し、SNSなどで発信しています。

以前、『月間愛媛こまち』を作っていた水本さんは、「小田の魅力を発信したくて、出版社に就職して勉強した。5年は頑張るつもりだったけれど、体調を崩して少し早めに戻ってきた」と苦笑い。でも、そのおかげで、どい書店を拠点に活動を始め、多くの仲間に出会うことができました。「収入は少ないけれど、どい書店の仲間との活動は楽しい。勢いも感じる」と声を弾ませます。

会社名の「おだいじ」には「小田が大事」「小田を維持したい」という思いが込められています。水本さんは「今、自分たちの世代が動かないと、地域が廃れてしまう。ふるさとをなくしたくないという思いが自分を動かしている」と力を込めます。「すぐに効果が出なくても、情報を発信することが大事。近くでも遠くでも、小田のことを思ってくれる人が増えたら、それが地域の力になる」と期待します。最後に水本さんは「多くのの人に喜んでもらえる仕事をしたい。企画や写真が得意なので、手伝えることがあれば声を掛けてほしい」と笑顔で呼び掛けました。

編集 幸記

▽ブルースカイの取材で、山口県へ行きまして。片腕だけで振り抜いたとは思えないほど鋭い打球に、明るい表情。障がい者の皆さんが頑張る姿が、今も目に焼き付いています。日常の小さな悩みななかで、くよくよしていられません(航)
▽暑さが容赦ないので、取材に行くたび、ビシヤビシヤです。なのに膨らみ続けるおなか……。20数年前の爽やかな汗は再現不可能です。しばらくお見苦しいと思います(裕)が、ご了承ください(裕)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

